

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	SMSいちネクスト		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 19日		2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2026年 1月 19日		2026年 1月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 5日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	幼児～就労までの繋がりがある(事業所)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同グループ内での交流会や子ども食堂への積極的な参加</li> <li>・スクールでは日常生活に即した活動や訓練を支援員が段階的に自立課題を作成し『いちカップ』と称してレク感覚で楽しく取り組み、ネクストでは外出活動やお接待、挨拶やお礼状の記入など外部に向けて自立性を養う取り組みを行っている</li> </ul> ⇒スクール、ネクストがお互いに学びの場として関わられるような機会として定期的に交流会を開催している	G Hまで含めた人生のステージに合わせた包括的支援

2	不登校児支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用が困難な児童に対してのアプローチや、保護者、学校との連携</li> <li>・積極的な利用促しと利用日や送迎の確保を相談できる体制</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習空白を補うための体制→教員資格を持つ職員が充足しているためいつでも対応可能</li> <li>・通常利用児童(通学児)とは別枠でストレスなく通える環境を構築する→個別サポート</li> </ul>
---	--------	--	--

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	機能訓練や言語訓練などを必要とする児童に対してのアプローチ	専門職不在により個別評価ツール作りなどの専門性に乏しい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部研修や外部見学などの実施でにより、支援に繋がる職員の専門的知識を育成する</li> </ul>
2	学習に対する要望が強いが直接的に結果として出していない	児童の強みに着目した支援内容が構築されていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活に即した学習内容を促進する(時計、会計など)</li> <li>・保護者会やペアトレなどの研修会を実施し、ご家庭の悩みを共有、解決していく</li> </ul>